

度の周知を図るため、広報への掲載や市内金融機関や商工会議所を訪問し、周知徹底を要請した。

大木 本制度は、中小企業の認定を市が行うが、認定件数や保証金額は、**産業建設部長** 事業所の所在地を所管する市町村

に提出し、借り入れに必要な資料を添えて保証つき融資を申し込む必要がある。十一月までに四十四件で、保証額は五億三千八百四十万円。

大木 制度周知の徹底と、円滑、迅速な対応を求め

県や国、信用保証協会、商工会議所等と連携し、制度の周知徹底を図るとともに、相談体制の強化を図っていききたい。

産業建設部長 下させ、汚染米事故の根源であるMA米輸入中止は大きな世論。国に中止を求めざるべきでは。

経緯もあり、国へ求めない。WTOの関税引き下げ例外品目数の八%確保は求めたい。

市長 JAへ配備の米粉加工維持費市町村補助金・老人等バス無料優待業務委託料・身体障害者無料バス優待事業委託料・競輪事業特別会計から、合わせて一億八千八百七十六万九千四百円になる。

工施設を、地産地消、地元農業活性化に生かす支援は。

産業建設部長 水稻栽培から商品まで地元で一体化できるため、ブランド戦略推進協を通じ協力し、米粉パン普及等も含め特産品づくりに生かす。

本年度末で推進期間の終わる第三次行政改革大綱の取り扱いは

みらいの会 安平 剛之 議員

答 来年度に策定する集中プランに盛り込みたい

安平 平成十六年度より始まった五カ年計画の第三次行政改革大綱が本年度をもって終了となるが、この大綱を今後どのように取り扱うのか。

総務部長 おおむね五カ年の推進期間として定めたもので、一つは職員意識改革、二つは民間営



小松島市営バスの委託料・補助金について

安平 本市から小松島市運輸部へ年間どれぐらいの委託料・補助金が支出されているのか。

総務部長 自動車運送事業線出金・地方路線バス

維持費市町村補助金・老人等バス無料優待業務委託料・身体障害者無料バス優待事業委託料・競輪事業特別会計から、合わせて一億八千八百七十六万九千四百円になる。

安平 競輪局が発注するファン送迎バス事業だが、鳴門競艇は通常開催日に運行していない。本市も同様に中止したらどうか。

長年続いている一定金額の委託料は「前例踏襲主義や積み上げ方式による増分主義を廃止する」と言われた市長の言葉に反していないか。

総務部長 小松島市社会福祉憲章条例の委員会で継続していくとの意見をいただいている。

学校給食の副食材を、地元産直市等から購入し、地元産比率を上げられないか。

教育次長 地元生産者団体と流通ルート確保の協議をする中で、市産品目、使用回数拡大したい。

予算編成過程の公表は

産業建設部長 ファンサービスを考えると廃止は難しい。

安平 老人バス無料優待券事業について、いつから一定の金額三千九百万円を支払っていたのか。

市民環境部長 平成十四年度より支払っていた。

安平 平成十四年度から

この事業は委託業務と考えるが、その予定価格の積算根拠は。

市長 積算根拠に基づいて、委託料を毎年変えていくのかという問題もあるが、本市の置かれた財政状況も絡み合わせながら考えると、政治的判断等によって、この金額あたりで決めていく。

当初予算の決定過程を納税者に示し、理解していただくため公開すべきでは。

安平 当初予算の決定過程を納税者に示し、理解していただくため公開すべきでは。

総務部長 財源措置状況、優先順位、他の事業との整合性などを検討する中で、事業内容を精査の上、最終予算が決まってくる。政策決定がなされていない時点での状況を公表することは難しい。



休園した櫛淵幼稚園は 今後どうするのか

みらいの会 濱田 保徳 議員

答 具体的な利用方法は 決まっていない

濱田 昭和四十三年、櫛淵小学校に鉄筋コンクリート二階建ての校舎が完成し、その後幼稚園に改造され、平成二十年度は入園者がなくなり、休園になった。今後、校舎の利用方法をどのように考えているのか。また、児童保育などの場として利用できるのか。

は可能と考えているが、利用は県の教育委員会と協議していきたい。

濱田 今後の利用がない場合は、園舎を解体してグラウンドの整備などができないものか。

教育長 園舎を解体する、また、その跡地を小学校のグラウンドにすることは考えていない。

県道阿南〜小松島バイパス の維持管理について

濱田 歩道の外側のフェンスに草が多く茂り、見通しも悪い。せめて二回ぐらいの除草はできないのか。

現段階では具体的な利用方法については考えていない。また、児童保育の施設開設には運営委員会の設置や、利用児童の確保など条件を満たす必要がある。その条件が満たされた場合に、児童の施設としての利用



産業建設部長 予算上の関係から、路肩から一メートルを除草している。除草剤を使用することは県では実施していない。

濱田 枯れると用水の中へ垂れ込み、水害が発生する恐れがある。年一回の清掃を行えないか。

産業建設部長 農業施設の適切な保全管理を行うため、平成十九年度から農地・水・環境保全向上対策事業により、地域の人が順次行っている。

平成二十一年六月「契約切れ」の 農機具の管理について

濱田 九月定例会において

県内八市で一番高い 介護保険料の引き下げを

日本共産党 天羽 篤 議員

答 健康づくり、介護予防 で負担を抑制する

天羽 本市の介護保険料は、県内八市の中で一番高くなっている。安心のまちづくり逆行しているのでは。

市長 利用者がふえると保険料の増加につながる。そうならぬよう、健康づくり、介護予防事業を推進する。このようなことで、市民の御負担を抑制する。

高速道路計画 浸水対策は万全か

天羽 平成十六年、台風二十三号により、立江・櫛淵地区に浸水被害があった。そこへ盛土工法で高速道路が計画されている。浸水対策は万全か。

産業建設部長 画されている。浸水対策は万全か。

天羽 平成十六年、台風二十三号により、立江・櫛淵地区に浸水被害があった。そこへ盛土工法で高速道路が計画されている。浸水対策は万全か。

天羽 滋賀県湖南市で

十一月八日、国



高速道路計画地（立江・櫛淵地区）

中学校給食の民間委託 偽装請負に当たるのでは

天羽 滋賀県湖南市で



から地元対策協議会に説明があった。市としては、国において十分な対策が計画され、わかりやすい説明がされたと認識している。

天羽 高速道に伴う側道の新設は市の事業となる。市の財政状況では、側道は高速道との同時完成は困難では。

産業建設部長 側道は各地区で用地調査を実施中、あるいは設計協議中であり、事業費は説明できない。

ての副市長答弁では、収集運搬を含めた処分体制を確立するため、調査委員会を立ち上げたと言っているが、その後の経過は。

市民環境部長 学識経験者などを含めた選定委員会を設置し、処理方式や委託業者選定方法などについての結論を得たいと考えている。

濱田 行政側から議会への報告はいつ頃か。

市長 選定委員会を設置する中で、今年度末までには、プロポーザル方式等も含めてどのような形で選定するかを決め、来年度早々あたりに業者の選定等にかかる。

濱田 市民の負担が軽減できるように考えていたいただきたい。



休園中の櫛淵幼稚園

は、学校給食の民間委託を計画していたが、偽装請負になるとの理由で断念している。市職員である栄養士が献立や食材を指示する方法が問題とのことだ。当市も偽装請負では。

教育長 労働者告示では労働者の業務の遂行に関する指示や管理、資金の調達など、事業主として

の責任を負うことのすべてを行っている場合は請負事業であるとされている。本市の場合は条件をすべて満たしているから、請負である。

競輪サテライト計画 地元同意とれてないが

天羽 徳島市沖洲地区住民が稲田市長に対し、競

輪サテライト計画の撤回を求める要請をした。地元の同意を得られない状態だが、どう対応するか。

市長 地元説明会を再度開催して、理解を得られるよう取り組む。

補助金頼りになっている 市営バスの今後の運営は

大互会 高木 幸次 議員

答 民間委託を推進する

高木 平成十九年度決算で約八百万円の純利益が出ているが、現状は市財政課、市民課から約二億円の補助金・委託料等が出ている。この体質はいつから続いているのか。

運輸課長 補助金が始まった昭和四十年後半から現在に至っている。

高木 市当局は、平成二十一年度から生活路線と観光事業の大半を民間企業に委託し、大幅に運輸



部を縮小する計画を進めているようだが。

運輸課長 民間委託導入については市長部局で取り組んでいる。民間委託の推進について運輸部で研究した結果、道路運送

民間委託で 臨時職員の身分は

高木 民間委託した場合、臨時職員及び委託職員の身分はどうなるのか。

雇用条件については、現在は日給月給の給与体系で、心配をかけている。受託会社の選定において、月給制導入を選定条件に入れるなど、非常勤職員の不利益にならないようにしていきたい。

市長 現在運輸部には、

十八名の非常勤職員や委託職員がいる。委託実施後は直営部分の業務量が大幅に減少するので、非常勤職員を、受託する民間会社に全員雇用をしていただければ、働きかけていきたい。



小松島市営バス

政務調査レポート

政務調査費を使用した研修、調査の報告書の概要です。
正規の報告書は議会事務局にて閲覧できます。

東へ西へ

議会組織のあり方、 常任委員会等の構成について

岡山県笠岡市・大阪府河内長野市

京都府京丹後市

〔日時〕

平成二十年十一月四日・五日

〔参加議員〕

佐野善作 宮崎欽司 石原正裕 北野恒男 安平剛之 濱田保徳 井村保裕 池淵彰 天羽篤 出口憲二 立川邦男

★ 議会の機能及び審査等の

機能を高めるために、議会組織のあり方、常任委員会等の構成の見直し検討を図るため調査研究を行った。

また、より開かれた議会



笠岡市役所

を指すため議会改革、議会基本条例を制定している先進地を視察、運営のあり方や具体的な手法等について調査研究した。

議会改革・

議会基本条例について

三重県伊賀市

〔日時〕

平成二十年七月八日

〔参加議員〕

佐野善作 宮崎欽司 石原正裕 北野恒男 安平剛之 濱田保徳 井村保裕 池淵彰 天羽篤 宝田清 武田覚 出口憲二 立川邦男

★ 前年度より進めてきた議

会基本条例制定のため、六月定例会において議会改革特別委員会を設置し、より開かれた議会を目指すため、議会改革、議会基本条例を全国で市としては初めて実施した先進地を視察



し、その運営のあり方、方向性など調査研究した。